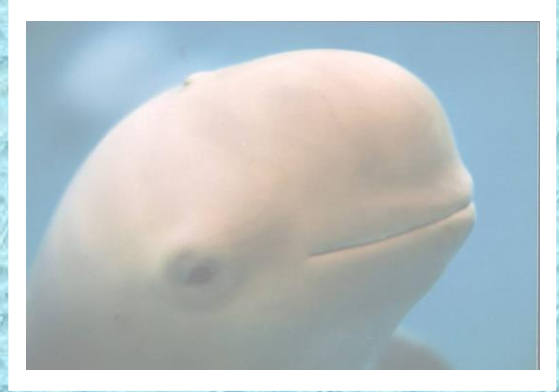


スナメリについて知ろう！！“スナメリ講座 in 上関” ～スナメリの生態や調査方法・保護対策について学ぶ～

瀬戸内海では1970年代以降、様々な環境の悪化により、スナメリの生息数が約1/3に減少したとされています。しかし上関周辺海域は他の海域に比べ、スナメリの生息数の減少率が低いことも報告されています。先進的に調査研究をされておられる先生方に学び、地元住民や市民がスナメリの生態解明と保護に向けた活動を行う契機にしたいと願っています。



1. 日時および会場 2016年10月1日(土) 13:00～16:00
上関町総合文化センター 1F 多目的ホール 0820(62)1460

2. 名 称 “スナメリ講座 in 上関”
～スナメリの生態や調査方法・保護対策について学ぶ～

3. プログラム

① 講演

- ◆ 演題 「瀬戸内海におけるスナメリの分布と個体数-2000年セスナ目視調査データの分析」
講師 白木原国雄氏(東京大学大学院新領域創成科学研究科)
- ◆ 演題 「スナメリフィールド調査」
講師 中村清美氏(神戸市立須磨海浜水族園 研究教育部)
- ◆ 演題 「スナメリの音響調査」
講師 木村里子氏(京都大学フィールド科学教育研究センター海洋生物環境学)
- ◆ 演題 「海響館におけるスナメリのストランディング調査とスナメリの救護」
講師 立川利幸氏(下関市立しものせき水族館海獣展示課)

② パネルディスカッション

4. 主 催 上関の自然を守る会

5. 連絡先

高島 美登里 〒742-1403 山口県熊毛郡上関町大字室津 1103-5
携帯TEL 090-8995-8799 Fax 0820(62)0710 E-mail midori.t@crocus.ocn.ne.jp

6. 参加費 無料(運営のためのカンパを歓迎します。)

7. 協 賛 なおこのシンポジウムはセブンイレブン記念財団/LushJapan チャリティバンクの助成を受けて行います。

講師のご紹介

白木原国雄氏



- 東京大学大学院新領域創成科学研究科教授
- 専門は鯨類・魚類の資源解析，スナメリの保全生態です。スナメリの分布と個体数を調べるためのセスナ目視調査を西九州，瀬戸内海，東京湾～仙台湾で行ってきました。最近は出生率の推定(十分な数の子が生まれているか)に焦点をあて，仙台湾や千葉県銚子周辺で親子連れの出現時期・場所を調べる目視調査を行っています。瀬戸内海のスナメリについての大学院生の研究として，分布と環境要因の関係，個体数の将来予測があります。

立川利幸氏



- 下関市立しものせき水族館「海響館」展示部海獣展示課長
- 大阪の府立高校を卒業後、大阪・海遊館に入社。退職後、海響館のオープニングスタッフとして下関へ移住。現在、海獣類・ペンギンを担当し、スナメリをはじめとする鯨類のストランディング調査にも従事している。動物トレーニングにも力を入れており、現在 IMATA（国際海洋動物トレーナー協会）の日本地域リポーターを務めている。

木村里子氏



- 京都大学フィールド科学教育研究センター・特定研究員
- 京都大学農学部卒業後、京都大学大学院情報学研究科にて博士号取得。名古屋大学環境学研究科で3年間、日本学術振興会特別研究員を勤めた後、現職。バイオロギング、音響観察手法などを使って水生動物（主に沿岸性のイルカ）の行動や生態を調べたり、人為的な影響を評価したりしている。フィールドは、中国、マレーシア、国内では伊勢湾・三河湾など。

中村清美氏



- 神戸市立須磨海浜水族園 学芸員
- 大学卒業後、山口、九州方面の水族館、博物館での勤務を経て、2010年より須磨海浜水族園勤務。
現在は、瀬戸内海東部海域を中心に、スナメリの調査研究活動を実施。

エクスカーションのご案内

- ◆ 日 時 10月2日（日曜日）A:研究者コース(先着12名)10:00～16:00
B:一般者コース 10:00～14:00
- ◆ 場 所 上関海域（室津港出航：室津半島～長島～八島～祝島の周辺海域）
- ◆ スケジュール 9:00～10:00 事前学習会
（講師：渡辺伸一氏/佐藤れんり氏 福山大学海洋行動学研究室）
10:00～16:00 エクスカーション（Bコースの方は14:00まで）
- ◆ 参加費 Aコース 3,000円 / Bコース 大人3,000円 中高生1,000円
（弁当代込）お申し込みの際に希望コース（A or B）をお申し出下さい。
- ◆ その他 ①遠方よりお越しの方で宿泊希望の方は早めにお申し込み下さい。（宿泊費は別途）
②10/1（土）の夕食は地元漁師さんの魚料理で交流会を行う予定です。（食費は別途）